

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



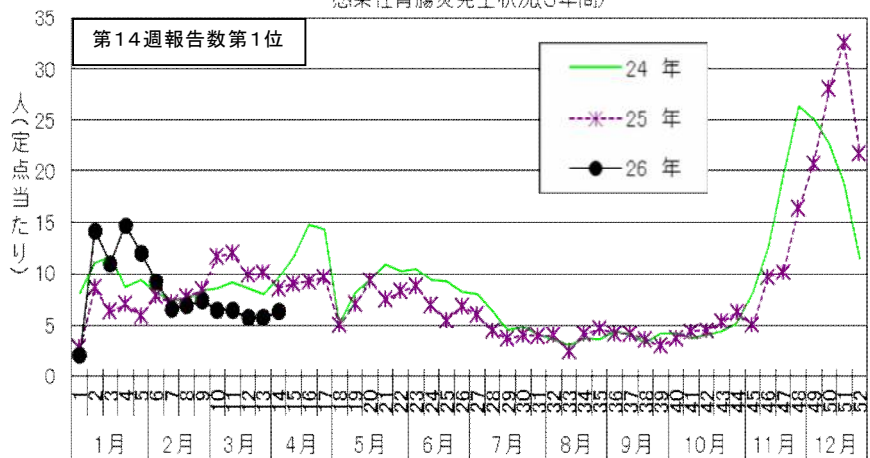
KAWASAKI CITY



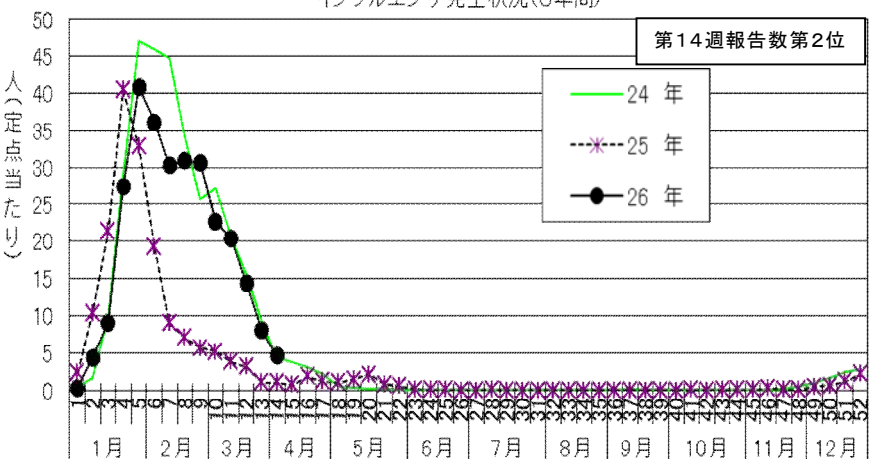
平成26年3月31日（月）～平成26年4月6日（日）〔平成26年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点当たり4.61人と前週（7.87）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎は定点当たり6.30人と前週（5.76）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 麻しんの届出が1件ありました。春から夏にかけて届出数が増加する傾向がありますので、今後注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)

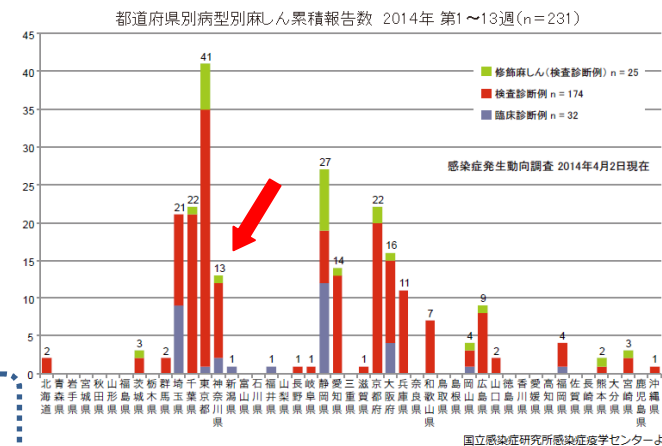


麻しんの流行に御注意ください！！

年明け以降、川崎市において「麻しん」の届出数が増加しています。1月は海外から帰国後に発症する事例が目立っていましたが、2月以降は海外渡航歴のない患者が多くなっています。

また、平成26年13週までの神奈川県における届出の約半数を川崎市が占めています。

麻しんは通常春から夏にかけて流行する傾向がありますので、これから注意が必要です。



麻しん注意点！



麻しんの初期症状は発熱や、咳、くしゃみなどで風邪と似ており、麻しんと気づかずに周囲に感染させてしまうことがあります。

麻しん患者との接触があり、発熱などの症状が出た場合には、医療機関を受診する前に、必ず連絡をして状況を伝えるようにしましょう。